

[2003年12月05日(05.12.03)国際事務局受理：出願当初の請求の範囲17及び25-27は補正された；出願当初の請求の範囲22及び24は取り下げられた；他の請求の範囲は変更なし。(7頁)]

1. 少なくとも第1及び第2の通信機器を備えて、それぞれの通信機器の間で所定の通信方式による無線通信を行う通信方法において、

- 5 上記第1の通信機器で、所定の接続操作が行われた場合に、送信可能な距離を短距離に制限した上で、無線通信の接続対象となる機器を発見するための問い合わせメッセージを無線送信し、上記第2の通信機器で、所定の待ち受け操作が行われた場合に、上記問い合わせメッセージを受信させて、その受信した問い合わせメッセージに対する応答メッセージを無線送信し、
- 10 上記第1の通信機器は、応答メッセージを受信した場合に、上記第2の通信機器との間で接続処理を行う通信方法。

2. 請求の範囲第1項記載の通信方法において、

- 15 上記送信可能な距離を短距離に制限する処理は、送信電力を通常の無線通信時の送信電力よりも制限された値に設定する処理である通信方法。

3. 請求の範囲第1項記載の通信方法において、

- 20 所定の接続操作による問い合わせメッセージの無線送信、及び／又は、所定の待ち受け操作による問い合わせメッセージの受信は、それぞれの通信機器に用意された操作手段を連続的に操作している間に実行する通信方法。

- 25 4. 請求の範囲第1項記載の通信方法において、

上記接続処理後に、第1又は第2の通信機器で実行中のプログラムに応じたデータの転送処理を実行する通信方法。

5. 請求の範囲第1項記載の通信方法において、

上記第2の通信機器は、問い合わせメッセージの受信感度を低下させて、短距離から無線送信された問い合わせメッセージだけを受信できるようにした

5 通信方法。

6. 請求の範囲第1項記載の通信方法において、

上記第1の通信機器での接続操作と、上記第2の通信機器での待ち受け操作とは、共通の操作とし、この共通の操作が行われた場合に、問い合わせメッセージの送信処理と、問い合わせメッセージの受信処理とを交互に行うようにした

10 通信方法。

通信方法。

7. 請求の範囲第1項記載の通信方法において、

上記第1の通信機器での接続操作は、問い合わせメッセージの種類と区別可能な限定問い合わせメッセージであり、上記第2の通信機器はその限定問い合わせメッセージを待ち受けるようにした

15 通信方法。

通信方法。

8. 請求の範囲第1項記載の通信方法において、

上記第1の通信機器での接続操作は、送信すべき汎用あるいは任意の限定問い合わせメッセージを選択するようになされており、上記第2の通信機器は、待ち受けるべき汎用もしくは任意の限定問い合わせを選択するようにした

20 通信方法。

通信方法。

9. 少なくとも第1及び第2の通信機器を備えて、それぞれの通信機器の間で所定の通信方式による無線通信を行う通信システムにおいて、

25 上記第1の通信機器として、

無線信号の送信及び受信を行う通信処理手段と、

接続操作手段と、

上記接続操作手段が操作された場合に、送信可能な距離を短距離に制限した状態で、上記通信処理手段から問い合わせメッセージを送信させ、その問い合わせメッセージに対する応答メッセージを受信した場合に、応答メッセージの送信元と接続処理を行う制御手段とを備え、

上記第 2 の通信機器として、

無線信号の送信及び受信を行う通信処理手段と、

待ち受け操作手段と、

- 10 上記待ち受け操作手段が操作された場合に、上記通信処理手段で上記問い合わせメッセージを受信させて、その受信した問い合わせメッセージに対する応答メッセージを上記通信処理手段で無線送信させる制御手段とを備えた

通信システム。

- 15 10. 請求の範囲第 9 項記載の通信システムにおいて、

上記第 1 の通信機器で、送信可能な距離を短距離に制限させる処理は、上記通信処理手段での送信電力を通常の無線通信時の送信電力よりも制限された値に設定する処理である

通信システム。

- 20 11. 請求の範囲第 9 項記載の通信システムにおいて、

上記第 1 の通信機器の接続操作手段が連続的に操作されている間に、上記第 1 の通信機器の制御手段が問い合わせメッセージを送信させ、

- 25 上記第 2 の通信機器の待ち受け操作手段が連続的に操作されている間に、上記第 2 の通信機器の制御手段が問い合わせメッセージを受信させる

通信システム。

12. 請求の範囲第 9 項記載の通信システムにおいて、

上記第 1 の通信機器の制御手段による接続処理が完了した場合に、第 1 又は第 2 の通信機器で実行中のプログラムに応じたデータの転送処理を実行する

通信システム。

- 5 1 3. 請求の範囲第 9 項記載の通信システムにおいて、

上記第 2 の通信機器の通信処理手段は、問い合わせメッセージの受信感度を低下させて、短距離から無線送信された問い合わせメッセージだけを受信できるようにした

通信システム。

- 10 1 4. 請求の範囲第 9 項記載の通信システムにおいて、

上記第 1 の通信機器の接続操作手段と、上記第 2 の通信機器の待ち受け操作手段は、共通の操作手段とし、

- 15 この共通の操作手段が操作された場合に、それぞれの通信機器の制御手段は、問い合わせメッセージの送信処理と、問い合わせメッセージの受信処理とを通信処理手段で交互に実行させる制御を行う

通信システム。

- 1 5. 請求の範囲第 9 項記載の通信システムにおいて、

- 20 上記第 1 の通信機器での問い合わせメッセージは、汎用の問い合わせメッセージと区別可能な限定問い合わせメッセージとし、上記第 2 の通信機器はその限定問い合わせメッセージを待ち受けるようにした

通信システム。

- 1 6. 請求の範囲第 9 項記載の通信システムにおいて、

- 25 上記第 1 の通信機器での接続操作は、送信すべき汎用あるいは任意の限定問い合わせメッセージを選択するようになされており、上記第 2 の通信機器は、待ち受けるべき汎用もしくは任意の限定問い合わせを選択するようにした

通信システム。

17. (補正後) 他の通信機器との間で所定の通信方式による無線通信を行う通信機器において、

無線信号の送信及び受信を行う通信処理手段と、

5 接続操作手段と、

待ち受け操作手段と、

上記接続操作手段が操作された場合に、送信可能な距離を短距離に制限した状態で、上記通信処理手段から問い合わせメッセージを送信させ、その問い合わせメッセージに対する応答メッセージを受信した場合に、応答メッセージの送信元と接続処理を行う制御手段とを備え、

上記待ち受け操作手段が操作された場合に、上記制御手段は、上記通信処理手段で問い合わせメッセージに対する応答メッセージを上記通信処理手段で通信させ、

15 上記接続操作手段と待ち受け操作手段は、共通の操作手段とし、

この共通の操作手段が操作された場合に、上記制御手段は、問い合わせメッセージの送信処理と、問い合わせメッセージの受信処理とを通信処理手段で交互に実行させる制御を行う

通信機器。

20 18. 請求の範囲第17項記載の通信機器において、

送信可能な距離を短距離に制限させる処理は、通信処理手段での送信電力を通常の無線通信時の送信電力よりも制限された値に設定する処理である

通信機器。

25 19. 請求の範囲第17項記載の通信機器において、

上記接続操作手段が連続的に操作されている間に、上記制御手段は問い合わせメッセージを送信させる処理を行う

通信機器。

20. 請求の範囲第17項記載の通信機器において、

上記制御手段による接続処理が完了した場合に、実行中のプログラムに応じたデータの転送処理を実行する通信機器。

5 21. 請求の範囲第17項記載の通信機器において、

待ち受け操作手段を備えて、

上記待ち受け操作手段が操作された場合に、上記制御手段は、上記通信処理手段で問い合わせメッセージを受信させて、その受信した問い合わせメッセージに対する応答メッセージを上記通信
10 処理手段で無線送信させる

通信機器。

22. (削除)

23. 請求の範囲第17項記載の通信システムにおいて、

上記接続操作手段は、問い合わせメッセージの種別を選択する
15 手段を含み、選択された任意の種別の問い合わせメッセージを送信できるようにした
通信機器。

24. (削除)

25. (補正後) 請求の範囲第17項記載の通信機器において、

20 上記待ち受け操作手段が連続的に操作されている間に、上記制御手段は問い合わせメッセージを受信させる処理を行う
通信機器。

26. (補正後) 請求の範囲第17項記載の通信機器において、

上記通信処理手段は、問い合わせメッセージの受信感度を低下
25 させて、短距離から無線送信された問い合わせメッセージだけを
受信できるようにした

通信機器。

27. (補正後) 請求の範囲第17項記載の通信システムにおいて、

上記待ち受け操作手段は、待ち受けるべき問い合わせメッセージを選択する手段を含み、選択された任意の種別の問い合わせメッセージを受信できるようにした通信機器。

5

10

15

20

25

接続操作手段と、

上記接続操作手段が操作された場合に、送信可能な距離を短距離に制限した状態で、上記通信処理手段から問い合わせメッセージを送信させ、その問い合わせメッセージに対する応答メッセージを受信した場合に、応答メッセージの送信元と接続処理を行う制御手段とを備え、

上記第 2 の通信機器として、

無線信号の送信及び受信を行う通信処理手段と、

待ち受け操作手段と、

- 10 上記待ち受け操作手段が操作された場合に、上記通信処理手段で上記問い合わせメッセージを受信させて、その受信した問い合わせメッセージに対する応答メッセージを上記通信処理手段で無線送信させる制御手段とを備えた

通信システム。

- 15 10. 請求の範囲第 9 項記載の通信システムにおいて、

上記第 1 の通信機器で、送信可能な距離を短距離に制限させる処理は、上記通信処理手段での送信電力を通常の無線通信時の送信電力よりも制限された値に設定する処理である

通信システム。

- 20 11. 請求の範囲第 9 項記載の通信システムにおいて、

上記第 1 の通信機器の接続操作手段が連続的に操作されている間に、上記第 1 の通信機器の制御手段が問い合わせメッセージを送信させ、

- 25 上記第 2 の通信機器の待ち受け操作手段が連続的に操作されている間に、上記第 2 の通信機器の制御手段が問い合わせメッセージを受信させる

通信システム。

12. 請求の範囲第 9 項記載の通信システムにおいて、

第 19 条 (1) の規定に基づく説明書

1. この請求の範囲は変更しない。
2. この請求の範囲は変更しない。
3. この請求の範囲は変更しない。
4. この請求の範囲は変更しない。
5. この請求の範囲は変更しない。
6. この請求の範囲は変更しない。
7. この請求の範囲は変更しない。
8. この請求の範囲は変更しない。
9. この請求の範囲は変更しない。
10. この請求の範囲は変更しない。
11. この請求の範囲は変更しない。
12. この請求の範囲は変更しない。
13. この請求の範囲は変更しない。
14. この請求の範囲は変更しない。
15. この請求の範囲は変更しない。
16. この請求の範囲は変更しない。
17. この請求の範囲は出願時における請求の範囲と差し替える。
18. この請求の範囲は変更しない。
19. この請求の範囲は変更しない。
20. この請求の範囲は変更しない。
21. この請求の範囲は変更しない。
22. この請求の範囲は削除する。
23. この請求の範囲は変更しない。
24. この請求の範囲は削除する。
25. この請求の範囲は出願時における請求の範囲と差し替える。
26. この請求の範囲は出願時における請求の範囲と差し替える。
27. この請求の範囲は出願時における請求の範囲と差し替える。

請求の範囲第 17 項を補正したことで、明細書の第 30 頁 1 行～第 31 頁 6 行に記載された「接続ボタンと待ち受けボタンを 1 つのボタンで兼用させる」ことを明確化した。この操作ボタンの共用化により、コスト、実装スペースの削減が図れる上、小型携帯機器でも簡単に無線通信の設定を行うことができ、操作性の向上が図れる。

19 条補正の根拠としては、明細書の第 30 頁 1 行～第 31 頁 6 行に「接続ボタンと待ち受けボタンを 1 つのボタンで兼用させる」ことについて記載され、かかる記載に基づいて請求の範囲第 17 項を補正するものである。請求の範囲第 25 項、第 26 項、及び第 27 項の補正は、これらの項で引用した請求の範囲第 24 項の削除により、引用する項を第 17 項に変更したものである。